世界史を受講する皆さんへ

こんにちは。村山秀太郎です。
「スタンダードレベル世界史」にようこそ！

入試世界史のスタンダード（標準）レベルとは，いったい何でしょうか。
それは,内容の難易度が「標準」ということではなく,すべての受験生がマスターしなければならない標準的な分野（領域）と用語を意味します。

ですから，この講座は入試世界史の「幹」（基礎）の部分のみを扱っており，このテキストにある用語を25講という限られた時間で丁寧に解説する授業です。

全25講ですから「枝葉」の部分は扱っていません。
「枝葉」とは「幹」と比べて重要度が劣るということではなく，理解し覚える順序において「幹」の次にくる分野である，ということです。

たとえば20世紀では，二度の世界大戦の基本的要因と冷戦の基本的推移およびロシア革命と中国革命のみを扱っており，中東戦争・朝鮮戦争・ベトナム戦争や20世紀の各国史は扱っていません。

そこで，この講座を受講しこのテキストの内容をマスターした諸君は，つぎに「トップ＆ハイレベル世界史50講」に進み「枝葉」にまで射程を拡げていただきたいと思います。

具体的な提案をいくつか。
このテキストにある「年号」を全て覚えましょう。入試本番で必ず威力を発揮します。受講の際，各自愛用の「資料集」を座右に置きましょう。また，講義を聴講した後で文章形式のもので流れをつかみながら復習しましょう。

世界史の勉強の仕方には，しかるべき順序があります。
基礎から着実に知識を積み上げていきましょう。
テキストの用語を「摂取」しテストで「運動」して，世界史力の「体幹」を鍛えてください。

すべてはそこからです。

村山秀太郎

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目　次

第１講　イスラーム以前のオリエント史 ……………………………… p4

第２講　古代ギリシアと共和政ローマ ……………………………… p10

第３講　ローマ帝国とイスラーム以前のインド史 ……………………… p17

第４講　ゲルマン民族・スラヴ民族・ビザンツ帝国 ……………………… p23

第５講　西ヨーロッパ中世世界 ……………………………… p29

第６講　神聖ローマ帝国・新大陸・宗教改革 ……………………………… p36

第７講　ネーデルラントの独立・テューダー朝とステュアート朝 …… p43

第８講　宗教戦争と絶対王政（フランス・ドイツ） ……………………… p48

第９講　ロシア絶対王政とアメリカ独立革命 ……………………………… p53

第10講　フランス革命とナポレオン ……………………………… p58

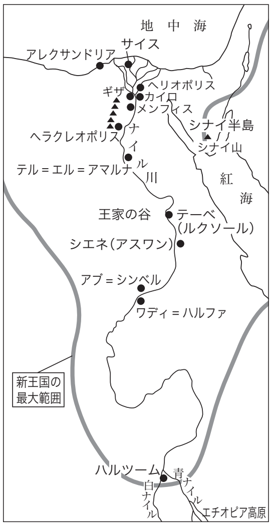
第11講　中国史（後漢まで） ……………………………… p64

第12講　中国史（隋まで） ……………………………… p69

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講
イスラーム以前のオリエント史



〔１〕古代エジプト文明

「エジプトはナイルの賜物」（ヘロドトス、前５Ｃ）

・**ノモス**（部族国家）

・**ファラオ**（エジプト王）による神権政治

古王国　　都　**メンフィス**

・**ピラミッド**時代

　・三大ピラミッド（**ギザ**）…**クフ**・カフラ・メンカウラー王

中王国　　都　**テーベ**

・**アモン**（テーベの守護神）崇拝　→　**アモン＝ラー**信仰

・**ヒクソス**（セム語系中心）

新王国　　都　**テーベ**

・トトメス３世

・**アメンホテプ４世**

　アモン＝ラー信仰（多神教）　→　**アトン神**（一神教）

　　・**テル＝エル＝アマルナ**へ遷都　**アマルナ美術**

・ツタンカーメン

・ラメス２世

　・カデシュの戦い（前1286．対ヒッタイト）

　・モーセによる“出エジプト”

アッシリア王国の侵入・支配（前671）

・四王国時代（前612～前525）…エジプト独立（第26王朝）

アケメネス朝ペルシアによる侵入・支配（前525）

象形文字（表意文字）…**パピルス**に記録

・**神聖文字（ヒエログリフ）**

・神官文字（ヒエラティック）

・**民用文字（デモティック）**

ロゼッタ＝ストーン

・神聖文字・民用文字・ギリシア文字の３書体で刻む

・**シャンポリオン**（仏）…ギリシア文字をもとにヒエログリフを解読（19C）

オベリスク（細長く先端が四角柱）

・**太陽暦**　→　**ユリウス暦**（前１C．ローマ時代に改良）

・**測地術**（幾何学の起源）　・十進法　・石造神殿

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔２〕古代メソポタミア文明

“肥沃な三日月地帯”

・メソポタミア（**ティグリス・ユーフラテス川**流域）～シリア・パレスチナ

・原始農耕遺跡（前6500頃．ジャルモ・イェリコ）

青銅器文明

①**シュメール人**＜民族系統不明＞

・**都市国家**（神殿中心）形成

・**ウル**・**ウルク**・ラガシュなど

・神権政治・**楔形文字**の使用・『シュメール法典』

②**アッカド人＜セム語系＞**

・サルゴン１世がメソポタミアを統一

③**バビロン第１王朝**〔前19C～前16C．**古バビロニア王国**〕　都　**バビロン**

・**アムル人**＜**セム語系**＞

・**ハンムラビ王**（位　前18C）

・『**ハンムラビ法典**』制定（シュメール法の継承）

・同害報復の**復讐法**

・**ヒッタイト**の侵入で滅亡

④**インド＝ヨーロッパ語族**の移動と**ヒッタイト王国**

・**小アジア**に建国

・**鉄製武器**の使用

・「**海の民**」の侵入により崩壊

ミタンニ王国〔前16C～前13C．**メソポタミア北部**〕

カッシート王国〔**メソポタミア南部**〕

セム語族の活動（東部地中海沿岸）

A.アラム人…**ダマスクス**を中心に西アジア**内陸貿易**を独占

・**アラム語**

・**アラム文字**

B.フェニキア人…**地中海交易**

・**シドン**・**ティルス**

・植民市**カルタゴ**（母市ティルス）

・**フェニキア文字**（表音文字）をギリシアへ伝える　→　**アルファベット**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

C.ヘブライ人（族長アブラハム）

モーセによる「**出エジプト**」

・ヘブライ王国…**ダヴィデ王・ソロモン王**

　・分裂（ソロモン王の死後）

　・＜北＞**イスラエル王国**…**アッシリア**に滅ぶ（前722）

　・＜南＞**ユダ王国**…**新バビロニア**に滅ぶ（前586）

　　・**バビロン捕囚**（前586 ～前538）

　　・**アケメネス朝**による解放　→　**イェルサレム**に神殿再興・**ユダヤ教**成立

　・**ユダヤ教**

　　・イェルサレム神殿（ソロモン神殿）…唯一神**ヤハウェ**

　　・**選民思想**

　　・**メシア（救世主）の待望**

　　・『**旧約聖書**』

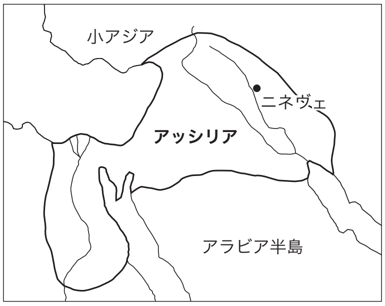
〔3〕オリエントの統一

⑴**アッシリア王国（ミタンニ王国から独立）**

アッシュール＝バニパル王（位　前7C）…大図書館建設（世界最古．**ニネヴェ**）

新バビロニア・メディア連合軍により滅亡（前612）

服属民族に対する過酷な支配



⑵**四王国時代**（前612 ～前525）

リディア＜印＝欧語系＞…小アジア

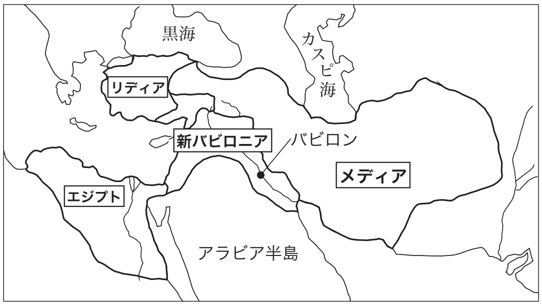
・世界最古の鋳造貨幣

新バビロニア（カルデア）＜セム語系＞…メソポタミア．都　バビロン

・ネブカドネザル2世…**バビロン捕囚**（前586 ～前538）

エジプト…第26王朝独立

メディア＜印＝欧語系＞…イラン



⑶**アケメネス朝ペルシア**〔前550 ～前330〕　都　**スサ　→　ペルセポリス**

ペルシア人＜**印＝欧語系**＞　**ゾロアスター教（拝火教）**信仰

①**キュロス2世（〝解放者〟）**

・メディアから独立・建国　リディア・新バビロニアを征服

・新バビロニア征服時…バビロン捕囚からヘブライ人を解放

②カンビュセス2世

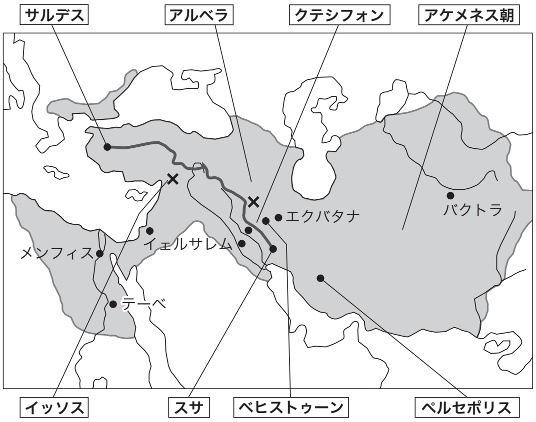
・エジプト征服（前525）　全オリエント支配

③**ダレイオス1世**（位　前6C）…新都**ペルセポリス**の造営

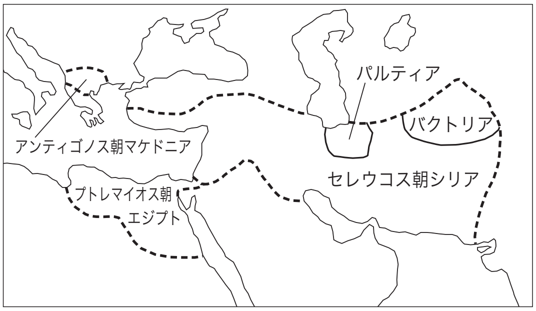
・エーゲ海北岸からインダス川

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

・中央集権体制…全土を約20州に分割
・**サトラップ**（知事）
・**王の目**・**王の耳**（監察官）
・**王の道**（サルデス～**スサ**）・**駅伝制**
・寛容な政治…ヘブライ人のユダヤ教信仰・フェニキア人の貿易奨励
・**ペルシア戦争**での敗北（④**クセルクセス１世**）
ダレイオス３世の敗北（前330）by　**アレクサンドロス大王**



〔４〕アレクサンドロス大王の後継国であるセレウコス朝からの独立国
バクトリア王国…**ギリシア系民族**…アム川流域に建国
パルティア王国…**イラン系**
アルサケスの建国…アルサケス朝（中国名：**安息**）
ササン朝ペルシアにより滅ぶ



〔５〕ササン朝ペルシア〔224 ～ 651〕 都**クテシフォン**
イラン系
アルダシール１世による建国…**ゾロアスター教の国教化**　**→聖典『アヴェスター』**
シャープール１世（この時期マニ教=ゾロアスター教+キリスト教+仏教．成立）
・東：**クシャーナ朝**を破る
・西：**ヴァレリアヌス**（ローマ軍人皇帝）を捕虜とする（260．エデッサの戦い）
ホスロー１世（6C）
・東：**突厥**と連合して**エフタル**を挟撃
・西：**ユスティニアヌス**（ビザンツ皇帝）との抗争
ニハーヴァンドの戦い（642．対イスラーム）に敗北・滅亡（651）

ササン朝美術　→　法隆寺の獅子狩文錦　正倉院の漆胡瓶

ササン朝ペルシア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講　テスト

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　①ナイル川によって生きるエジプトは，一時は異民族の侵入があったが，メソポタミアと異なり砂漠と②海に囲まれているため，③セム語系の人びとが長期にわたって④高度な文明を営んだ。

2　①セム語系の②アムル人がバビロン第１王朝（③古バビロニア王国）をおこし，④キュロス２世のときに全メソポタミアを支配した。

3　はやくから①鉄製の武器を使用したヒッタイト人は，B.C.17世紀半ばごろ②イラン高原に強力な国家を建設して③バビロン第１王朝を滅ぼし，さらにシリアにも進出して④エジプトと戦った。

4　エジプトでは①中王国時代には，中心は上エジプトの②メンフィスに移ったが，その末期に③シリアから遊牧民④ヒクソスが侵入し，国は一時混乱した。

5　B.C.14世紀には，①トトメス３世（②イクナートン）が③テル＝エル＝アマルナに都を定め，従来の神々の崇拝を禁じて④一つの神だけを信仰する改革をおこなった。

6　エジプトで発達した①測地術は，ギリシアの②幾何学のもとになり，太陰暦と並んで用いられた③太陽暦は，のちにローマ帝国で採用されて④グレゴリウス暦となった。

7　①シリアに多くの都市国家を建設した②アラム人は，B.C.1200年ごろから③ティルスを中心に内陸都市を結ぶ④中継貿易に活躍した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

8　①ヘブライ人はエジプトで②新王国の圧政に苦しみ，B.C.13世紀に指導者③ダヴィデに率いられて④パレスチナに脱出した（「出エジプト」）。

9　イスラエル王国は①ヒッタイトに滅ぼされ（②B.C.722年），ユダ王国も③新バビロニアに征服されて，④B.C.586年住民の多くはその都であるバビロンに連れ去られた（バビロン捕囚）。

解答

1　③→エジプト語系　　2　④→ハンムラビ　　3　②→アナトリア高原
4　②→テーベ　　5　①→アメンホテプ４世　　6　④→ユリウス暦
7　③→ダマスクス　　8　③→モーセ　　9　①→アッシリア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。